



# アンサンブル・ノマド 第78回定期演奏会

“プシュケー・息” vol.1:吹奏の風

2023

6/1(木)

18:30 開場/19:00 開演  
東京オペラシティリサイタルホール

## プログラム

山下真美：5番の香水 (2022)  
Mami Yamashita : 5° Parfum - Parfum numéro cinq -

江村哲二：奇妙な誘惑 (2005)  
Tetsuji Emura : attrait étrange

クリストバル・ハルフター：フルートと弦楽六重奏のための協奏曲 (1982)  
Cristóbal Halffter: Concierto para flauto y sexteto de cuerdas  
Flute Solo : 木ノ脇道元

藤倉 大：チューバ協奏曲 - 室内楽版 (2016/2017, 2022)  
Dai Fujikura : Tuba Concerto (ensemble version) ~世界初演  
Tuba Solo : 橋本晋哉

エドガー・ヴァレーズ：オクタンドル (1923)  
Edgard Varèse : Octandre

星谷文生：刹那の慣習 Ile -時の分割について- (2023) ~ 世界初演  
Takeo Hoshiya : The Tradition of Kshana Ile - De Divisionibus Temporum -  
Clarinet Solo : 菊地秀夫

久木山 直：木管五重奏のためのRAMO 枝 (2022)  
Naoshi Kukiya : Ramo

## 出演

### Ensemble NOMAD

佐藤紀雄 (cond/gt) 木ノ脇道元 (fl) 菊地秀夫 (cl/cond) 野口千代光 (vn)  
花田和加子 (vn/va) 甲斐史子 (va) 菊地知也 (vc) 佐藤洋彰 (cb)  
中川賢一 (pf) 宮本典子 (perc)

### ゲスト

橋本晋哉 (tub) 林 憲秀 (ob) 福士マリ子 (fg) 萩原顕彰 (hr)  
佐藤秀徳 (tp) 村田厚生 (tb) 川口静華 (vn) 朝吹 元 (vc)

主催：一般社団法人アンサンブル・ノマド

助成：NOMURA 野村財団 公益財団法人 花王 芸術・科学財団 公益財団法人 朝日新聞文化財団

## チケット

	【前売】	【当日】
一般	¥4,000	¥4,500
大学生	¥2,000	¥2,500
高校生以下	¥1,000	¥1,500

(就学前のお子様の同伴・ご来場はご遠慮下さい)

### チケット取り扱い

東京オペラシティチケットセンター Tel : 03-5353-9999  
アンサンブル・ノマド ウェブサイト  
<http://www.ensemble-nomad.com/>

### お問い合わせ

キーノート Tel: 0422-44-1165  
Mail: keynote\_music@fol.hi-ho.ne.jp

※曲目・出演者は変更になる場合がございます。  
※マスクの着用など、新型コロナウイルス感染症対策につきましては東京オペラシティのホームページ (<https://www.operacity.jp>) の「トピックス」をご参照の上、ご協力をお願いいたします。



# アンサンブル・ノマド第78回定期演奏会

2021年の第73回定期演奏会で『弦が運ぶもの』と題してアンサンブル・ノマドの弦楽器奏者を中心に弦楽作品を特集しましたが、今回はノマドのフルート奏者木ノ脇道元とクラリネット奏者菊地秀夫を主軸に管楽器に焦点を当てたプログラムを組みました。ノマドという新しいアンサンブルを立ち上げる大きな切っ掛けのひとつに木ノ脇と菊地との鮮烈な出会いがありました。やっかいな特殊奏法や超絶技巧を物ともせず、未知の現代作品を主体的な興味を持って楽しんでいるふたりの姿は長年現代音楽の分野に関わってきた私に新鮮なショックを与えてくれ、ノマドを目ざす切っ掛けとなりました。以来、ふたりは25年の長きにわたってアンサンブルの中心にあってノマド独特のカラーを生み出してきました。このプログラムではふたりの至芸とともに、素晴らしいゲストの皆さんとのアンサンブルも楽しんで頂きたいです。今回はまたチューバの表現の可能性を追い求めてあくなき挑戦を続け、その上目覚ましい成果をあげていらっしゃる橋本晋哉さんをお迎えし藤倉 大作曲・編曲の『チューバ協奏曲版-室内楽版』を世界初演出れることは大変光栄であり、楽しみでもあります。

演奏会当日、ホールを駆けめぐる"吹奏の風"をご堪能ください。

佐藤紀雄

## Guests



橋本晋哉 (tub)



林 憲秀 (ob)



©Ayane Shindo  
福士マリ子 (fg)



萩原顕彰 (hr)



佐藤秀徳 (tp)



村田厚生 (tb)



川口静華 (vn)



朝吹 元 (vc)

## Ensemble NOMAD

1997年、ギタリスト佐藤紀雄の呼びかけによって集まった、無類の個性豊かな演奏家によって結成されたアンサンブル。「NOMAD」(遊牧、漂流)の名にふさわしく、時代やジャンルを超えた幅広いレパートリーを自在に採り上げ、斬新なアイデアやテーマによるプログラムによって独自の世界を表現するアンサンブルとして内外から注目されている。2002年度に行った第15回定期演奏会「ゲージとメシアンの間で交わす自然と宇宙に関する往復書簡」は大きな反響をよび、サントリー音楽財団「第2回佐治敬三賞」を、2014年度の第52回定期演奏会「再生へ vol.3: 祈り〜エストニアから震災復興を祈るコンサート」により「第3回ウィーン・フィル&サントリー音楽復興祈念賞」を受賞した。海外からの招待も多く、2000年オランダの「ガウデアムス音楽週間」、2003年ベネズエラで行なわれた「フェスティバル・アテンボ」、2005年11月パリで行われた「フェスティバル・アテンボ」およびイギリスの「ハダースフィールド現代音楽祭」、2007年にはメキシコの「モレリア音楽祭」、また2008年10月にはソウルでの「パン・ミュージック・フェスティバル」などに出演。2009年秋には、中国北京の音楽大学などで中国人作品を中心としたプログラムの公演を行ない、好評を博した。2011年には2度目の韓国公演を開催。2013年にはエストニアとオランダで公演。2014年にはメキシコの「セルバンティーノ音楽祭」に日本を代表するアンサンブルの1つとして招聘された。2015年12月に再び中国四川公演を行い、2020年には「ライプツィヒ現代音楽祭」にonlineで参加。今後も中国やフランス、メキシコなどでの公演を予定している。また、近年ではアウトリーチ活動にも積極的に取り組み、保育所、病院、小学校、特別支援学校等で訪問コンサートやワークショップを行なっている。CDは、これまでに国内外で22枚リリースされている。2022年、結成25周年を迎えた。

公式ウェブサイト：[www.ensemble-nomad.com/](http://www.ensemble-nomad.com/)

### 東京オペラシティリサイタルホール



東京都新宿区西新宿 3-20-2 東京オペラシティ B1F  
Tel: 03-5353-0788  
京王新線「初台駅」東口下車徒歩3分

Photos (表): ©Higashi Akitoshi (木ノ脇道元・菊地秀夫)、©松蔭浩之 (橋本晋哉)  
Photo (裏): ©Maki Takagi (Ensemble NOMAD)